

報告書

No. 02-00477-2

依頼者 住 所：大阪府中央区常磐町 2-1-1 ヒカリビル 202

会社名（氏名）：辰巳博昭（快適環境研究所） 様

試料名（依頼者の申出による呼称）

竹炭トルマリンクロス

1 点

本所に提出された試料につき試験した結果を下記のとおり報告いたします。

平成 22 年 5 月 17 日

大阪府立産業技術総合研究所長



試験項目：化学試験（繊維系消臭及びガス吸着機構評価試験）

試験方法：試験はすべて 20°C-65%RH の恒温恒湿室内にて行った。

試料調整：試料は 10cm×10cm 角に裁断し、恒温恒湿室内に 24 時間静置した。

臭気ガス（初発濃度）：アンモニア（100ppm）

ガス検知管（測定範囲）：ガステック社製アンモニア検知管 No.3La（2.5～200ppm）

ガステック社製アンモニア検知管 No.3L（0.5～78ppm）

消臭試験：2 ロスリーブ付き 5L のテドラーバッグの片隅をカットし、試料 1 枚を入れた後、密閉した。真空ポンプで一度脱気した後、空気 3L を封入し、臭気ガスを所定の初発濃度になるように注入後密閉し、静置した。2 時間後のテドラーバッグ内のガス濃度を、ガス検知管を用いて測定した。

試験結果：試験は 1 回行った。

	2 時間後
ブランク試験	100ppm
竹炭トルマリンクロス	n.d.

（n.d.：検知限度 0.2ppm 以下）

（以下 余 白）

1 枚の内 1 枚目

報告書

No. 02-00477-3

依頼者 住 所：大阪府中央区常磐町 2-1-1 ヒカリビル 202
会社名（氏名）：辰巳博昭（快適環境研究所） 様

試料名（依頼者の申出による呼称）
竹炭トルマリンクロス

1 点

本所に提出された試料につき試験した結果を下記のとおり報告いたします。
平成 22 年 5 月 17 日

大阪府立産業技術総合研究所長



試験項目：化学試験（繊維系消臭及びガス吸着機構評価試験）

試験方法：試験はすべて 20°C-65%RH の恒温恒湿室内にて行った。

試料調整：試料は 10cm×10cm 角に裁断し、恒温恒湿室内に 24 時間静置した。

臭気ガス（初発濃度）：トルエン（20ppm）

ガス検知管（測定範囲）：ガステック社製トルエン検知管 No.122L（1～100ppm）

消臭試験：2 ロスリーブ付き 5L のテドラーバッグの片隅をカットし、試料 1 枚を入れた後、密閉した。真空ポンプで一度脱気した後、空気 3L を封入し、臭気ガスを所定の初発濃度になるように注入後密閉し、静置した。2 時間後のテドラーバッグ内のガス濃度を、ガス検知管を用いて測定した。

試験結果：試験は 1 回行った。

	2 時間後
ブランク試験	20ppm
竹炭トルマリンクロス	1ppm

（以下 余 白）

1 枚の内 1 枚目